

25 通関士



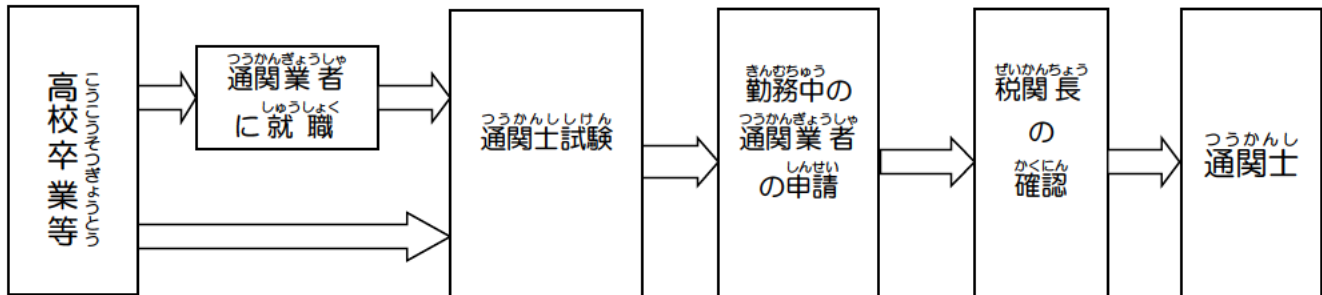
貿易業界で唯一の国家資格である通関士は、通関業者と呼ばれる、貿易会社などに代わり輸出入に関する通関手続きを代理で申請する業者には、必ず設置が義務付けられている職業です。

通関業者以外の商社や貿易会社に就職する場合でも、通関士の資格を持っていることは、非常に有利となります。最近では、貿易会社が自社で通関業を行うケースも増えてきています。

貿易の規制緩和から、海外との輸出入量は増加しており、通関士の需要も増えてきています。

通関士の試験は、年齢や学歴に関係なく誰でも受けることができますが、実際に通関士として認められるには、試験合格後に、勤務している通関業者を通して税関長の「確認」を受けることが必要です。

通関士になるには



<早くから準備をしましょう>

受験に特別な条件はありませんが、試験の合格率は10%未満であるため、簡単にとれる資格ではありません。試験勉強には専門学校や通信講座などを活用しましょう。また、国際情勢には常に目を向けて、幅広い知識を身につけましょう。通関手続きの書類は英文であるため、高い日本語能力と共に英語の学力が求められます。

<資格を取れば どのくらいに就職できるの？>

陸上・海運の運送会社をはじめ、倉庫会社、航空代理店、旅行業、港湾会社などです。

平均年収は約540万円です。

<こんな仕事も>

通関業者以外では、商社、貿易部門のあるメーカー、外国為替を扱う保険会社や銀行、輸入品を扱う百貨店やスーパーなどの貿易業でも活躍の場があります。

<費用(学費)はどれくらい？>

1年制の専門学校で年間100万円以上、短期講座や通信教育は1回10万円以上かかります。